



丹後峰山の
ことひらさん

境内点描 佐々木社

山内には五棟七社の末社(まっしや)がありますが、その中の佐々木社は特に京極家の祖先神で、元禄十六年(一七〇一)年四代高之公の時から峰山藩邸内で祀られていた峰山藩京極家ゆかりのお社です。明治六年峰山小学校新築に際し当社へ遷座され、ご本殿よりさらに奥、現在の古い石堀に囲まれた空き地のあたりに鎮まっています。震災復興時にはさすがにご本殿より上ではなく、八坂社(祇園社)と併せ現在の処へ再建されました。本社は滋賀県蒲生郡の沙沙貴神社で、宇多天皇に血脈を發する源氏京極家所縁の神社です。



ご本殿より上ではなく、八坂社(祇園社)と併せ現在の処へ再建されました。本社は滋賀県蒲生郡の沙沙貴神社で、宇多天皇に血脈を發する源氏京極家所縁の神社です。

平成千年祭行事のご案内

初詣 大晦日より終夜参拝
元日 御神酒授与 正月縁起物多数
※元日午前零時より、峰翔会のご奉仕で「甘酒」などの無料接待を計画しています

一月十四日(水)午前 七時～
焼納祭(どんと焼)

二月 一日(日)午前十二時
節分 還暦初老祈願祭
ご参列希望の方は、地域にかかわらずお申込み下さい
二月十二・十三日(木・金)
「お伊勢さん 初まり」伊勢参宮旅行
参加者募集中 参加費 一人 二二〇〇〇円

四月九・十日 春季大祭 吉例「宝鏡」開催

『峯山藩フォーラム』開催のご案内

日時 平成21年 月 日(土) 13時30分～16時30分
場所 峰山地域公民館
主催 丹波タラの文化を伝承する会(文伝会)

◇基調講演「近世「徳川領国」と峯山藩」
山田洋一氏(府立総合資料館歴史資料課資料主任)

◇パネルディスカッション「峯山藩を語る」
小山元孝氏(市教育委員会文化財保護課主任)
山田洋一氏(府立総合資料館歴史資料課資料主任)
糸井 昭氏(郷土史家)
脇阪卓爾(峰山京極会代表)
藤村淳氏(丹波の文化を伝承する会会長)

新年祈願承り中

家内安全 心身健勝
商売繁盛 会社隆昌
男女厄年 開運厄除
合格祈願 学業成就
海上安全 大漁満足

平成21年の厄年(数え年)

平成3年生	19歳	女子厄年
昭和60年生	25歳	男女
昭和52年生	33歳	女子大厄
昭和48年生	37歳	男女
昭和43年生	42歳	大厄初老
昭和24年生	61歳	還暦

平成23年御鎮坐二百年大祭

金 金刀比羅神社
ことひらじんじや

京丹後市峰山町泉1165-2
電話 0772-62-0225
FAX 0772-62-5993
メール info@konpirasan.com
<http://www.konpirasan.com>

自衛消防協力隊 発足 消防訓練 実施

昨年までに篤志御奉納による拝殿前屋外消火栓と火災警報装置を設置することができ、消防設備は整えられましたが、実際の運用については課題がござれておりました。これに取り組むべく近隣住民十五名のご参加を得て「金刀比羅神社自衛消防協力隊」を組織し、八月三十一日初めての消防訓練を実施しました。



当日は峰山町防災訓練の実施日でもあり、地元七区との合同訓練とし、京丹後市消防署・京丹後市消防団峰山南地区の消防分団にも指導協力を得て開催、本殿火災を想定し、通報・連絡・避難誘導の訓練と消火栓を使用して実際に拝殿への放水を行いました。

またその後は七区区民を対象とした消火器使用訓練を実施、住民をあげて神社と地域防災への意識を高める機会とし、不測の事態に備える体制を整えることが出来ました。



亀の池 大掃除 実施

八月下旬「こんぴらさんの亀の池」として広く親しまれている境内の池の大掃除を実施しました。

池底に堆積した泥を除く作業と、異常に増えすぎた外来種のミドリガメ（アカミミガメ）を駆除する作業を行いました。十数年来の泥の多さもさることながらミドリガメの多さには驚きで、なんと五十匹を数えました。心配の種は除いた亀の行き先です。川に放せば自然環境・生態系破壊、あやめてしまうわけにもいきません。幸い篤志家所有の管理された池に引き取っていただき一安心できました。



春まで冬眠に入る亀さんも日本古来の種だけでゆったり眠れることでしょうか。亀を池に放される方は、くれぐれも種類をお確かめ下さいませ。

京極家繁栄祈願祭執行

昨年発足しました「峰山京極会」では、一月七日、旧峰山藩主京極家第十六代当主京極高幸様寛子様ご夫妻をお迎えして、京極家繁栄祈願祭を執行了しました。

特にご当主ご夫妻には当社本殿での祭儀に参列されますのは初めてでもあり、創建当時の当主七代高備公が奉納された青銅燈籠をご見学いただき、京極家の祖先神でもある末社の佐々木社へ御参拝いただきました。



祈願祭の後は参列に加わった会員一同、旧士族会の共同社一同との懇談会を実施、今後の啓蒙活動の展望など話に花を咲かせました。

氷雨の中で紅葉祭

十一月三十日（日）第四回紅葉祭は、あいにくの雨に見舞われての開催となりました。

午前九時半からご本殿での祭儀に続き、峰山よさこい連によるよさこい踊り奉納、ここまではもった雨も十一時からの「バラ寿司」「カニ汁」接待の頃にはしっかりと降り始めました。それでも特別神札を授かり接待に預かろうと

長蛇の列ができ、峰雅会が雅楽を奉納するなか、寒さに悴みながら丹後の冬の味覚を堪能されました。終日境内では模擬店や地場産品の直売・コッペ蟹の特売などが開催されましたが、氷雨の影響で大賑わいとはなりませんでした。

平成二十三年の御鎮座二百年祭へ向けて町内を盛り上げて行くことを目的に始まった祭り故に、悪天候にもかかわらず実行委員の心意気は高く、例年続けていくことにこそ意義があるとして、あらためて結束のこぶしを固めていただきました。また、月末の開催となったため山内の紅葉は散り際の風情となりましたが、二週間にわたって夜間のライトアップも実施し、多くの方にお参りいただくことができました。



総代就退任のお知らせ

神社総代 平田 富義 殿
 神社総代 藤田 兵一郎 殿
 神社総代 荻野 秀忠 殿
 金刀比羅神社相談役を委嘱します。
 平成二十年十月三十日付

小松 通 男 殿

（小松会計事務所 所長）

松本 研 二 殿

（峰山商業開発株式会社 代表取締役
 株式会社 マルマツ 代表取締役）

金刀比羅神社総代を委嘱します。

平成二十年十二月一日付